

2020年5月19日

工学部同窓会理事各位

会 長：宇野勝久

副会長：斎藤壽士、神門 登、向山 博、日野泰雄、吉田 稔

会 計：東 恒雄

大阪市立大学「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活に困窮する  
学生のための緊急支援給付金制度」への寄付について

新型コロナウイルスの感染拡大により4月7日（全国的には4月16日）に緊急事態宣言が発令され、外出や外食などを自粛するよう強く要請されてきましたが、最近では新たな感染者数も減少し、少しずつ自粛の制限も緩和されつつあります。しかし、気を緩めるとふたたび感染が拡大する恐れがあるとされ、今後、数か月あるいはそれ以上の長きにわたって感染を抑え込む生活が余儀なくされそうです。

さて、新聞やテレビのニュースで連日報道されておりますが、今回のコロナ禍により、アルバイトをなくし、あるいは家族の収入が激減するなど生活が困窮している学生が増えています。なかには、退学を考える程度にまで追い込まれている学生も出てきていますが、大阪市立大学の学生・院生も例外ではありません。

私達役員会メンバーが、そういう生活困窮学生に対し同窓会として何らかの援助が出来ないかと考えていた時、大学が「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活に困窮する学生のための緊急支援給付金制度」を立ち上げたとの情報が入りました。

その制度の資金は、とりあえず教育後援会から500万円、大学から予算外で2700万円を拠出し、HPで広く寄付を募る取り組みを始めるとのことです。

（なお、教育後援会はオンライン授業への対応（パソコンやWifi環境提供）資金として、さらに500万円を拠出しています。）

その情報をもとに、役員会メンバーがメールで意見交換し、工学部同窓会からも特別基金を取り崩して500万円を上記「緊急支援給付金制度」に寄付してはどうかということで、全員一致でまとまりました。そして、役員会メンバー全員の共同提案として、メールで理事会を開催し、皆様のご意見をお聞きすることに致しました。

ご参考までに、2020年2月開催の工学部同窓会評議員会の予算案では、特別基金の次年度繰越金は31,506千円、奨学金基金の次年度繰越金29,439千円（ただし、次年度以降3年間の奨学金貸与予定金総額（支出）は275万円、今後の返済予定金（収入）は約1,200万円）です。

理事メンバーのご賛同をいただき、寄付をすることが出来れば、もちろん、12月発行予定の「同窓会だより」にその旨報告しますが、同時に、他学部同窓会に対しても「緊急支援給付金制度」への援助の働きかけになると考えております。

なお、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活に困窮する学生のための緊急支援給付金制度」は大阪市立大学のホームページに掲載されています。

[https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/financial\\_aid/8nwim0](https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/financial_aid/8nwim0)